

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「個人を尊重する人間関係を探るⅠ」		担当教員	金子重紀	
ディプロマポリシーとの関連性	②・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜紹介します。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴を語ることができる。 ・自分なりの人間関係のあり方について語ることができる。 ・個人を尊重する社会のあり方を考えることができる。 <p>■授業の概要</p> <p>担当教員は、1年次に憲法の学習で個人の尊重を基軸に講義してきた。しかし、「個人」が「尊重」に基づく人間関係あるいは社会の在り方について、私たちは実現できていない。特に情報化社会の中で、個人と個人の関係、社会と個人の関係はより複雑になり、個人を尊重することがより危機に瀕しているとさえ言える。社会に出る前に、個人を尊重するとはどういうことであるかをできるだけ深く考えておくことは、生きていくうえでの一つの柱になると考えている。専門総合演習では、まず、自分を振り返り捉えることから始めていき、その材料として過去の若者やその文化との比較をすることで、現在の自分を捉える契機にしていく。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション：人間関係はどうあるべきかを考える。</p> <p>第2回 自分史を語ろう（1）</p> <p>第3回 自分史を語ろう（2）</p> <p>第4回 自分史を語ろう（3）</p> <p>第5回 自分史を語ろう（4）</p> <p>第6回 自分史を語ろう（5）</p> <p>第7回 若者文化の変遷を見てみよう・1960年代後半から（1）</p> <p>第8回 若者文化の変遷を見てみよう・1960年代後半から（2）</p> <p>第9回 若者文化の変遷を見てみよう・1960年代後半から（3）</p> <p>第10回 社会の変化と人間関係（1）</p> <p>第11回 社会の変化と人間関係（2）</p> <p>第12回 社会の変化と人間関係（3）</p> <p>第13回 少数者を受け入れる姿勢（1）</p> <p>第14回 少数者を受け入れる姿勢（2）</p> <p>第15回 前期のまとめ・後期「卒業演習」に向けて</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎授業後に学んだことを確認します。次回の授業までに確認しておく。 ・各單元ごとに学んだことを振り返る。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み — 60% ・小レポート — 20% ・期末レポート — 20% 							
参考文献	随時紹介します			特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、教員並びに学生の個人のプライバシーにかかわる情報が開示されることが想定されます。授業の中で知り得た個人情報を絶対に外部に流さないこと。これに違反した場合は、単位を認めない。 ・フィールドワークに出ることも検討しています。その場合は、これに要する要する費用は自己負担となります。 【課題等へのフィードバック方法】 ・レポートは確認し返却します。 		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							